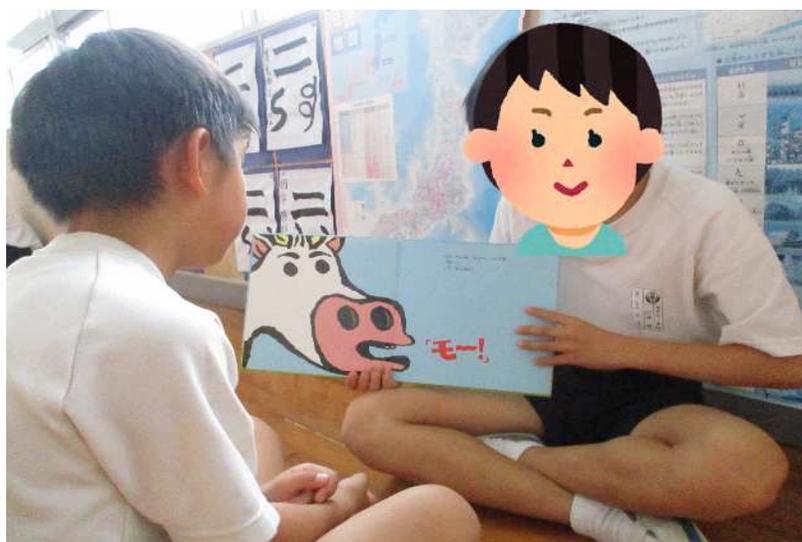


令和6年度  
第2回大島地区教頭研修会 実践発表

糸木名小学校の取組と教頭としての思い



伊仙町立糸木名小学校 教頭 中間 利彦

## 【校区の概要】



## 【学校の概要】

リュウキュウ  
エノキ



児童 18人 (完全複式3学級)

職員 9人 (県費7人 町費2人)

## 【教頭としてのスタート】

- 公文処理
- 報告物作成
- 外部との連絡・連携
- 草刈り・ネズミ退治
- 休日のエサやり・水かけ・・・



日常の業務でいっぱいいっぱい  
学校長との単なるパイプ役

## 【教頭としてのリスタート】

# 学校教育目標

授業改善

業務改善

コミュニケーションとフィードバック

相手の思いを理解  
(心理的安全性)



力づける言葉  
改善点  
感謝の気持ち

## 【授業改善】

### 〈児童の実態〉

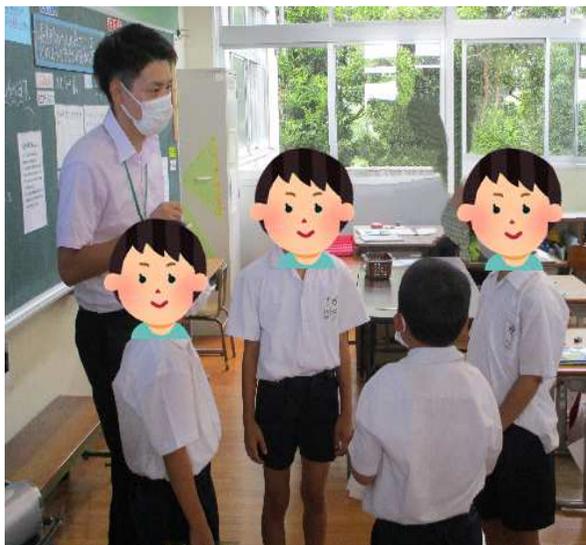
- 学習意欲はある。
- ガイド学習への苦手意識がある。
- 主体的に学ぶ姿があまり見られない。

### 〈職員の実態〉

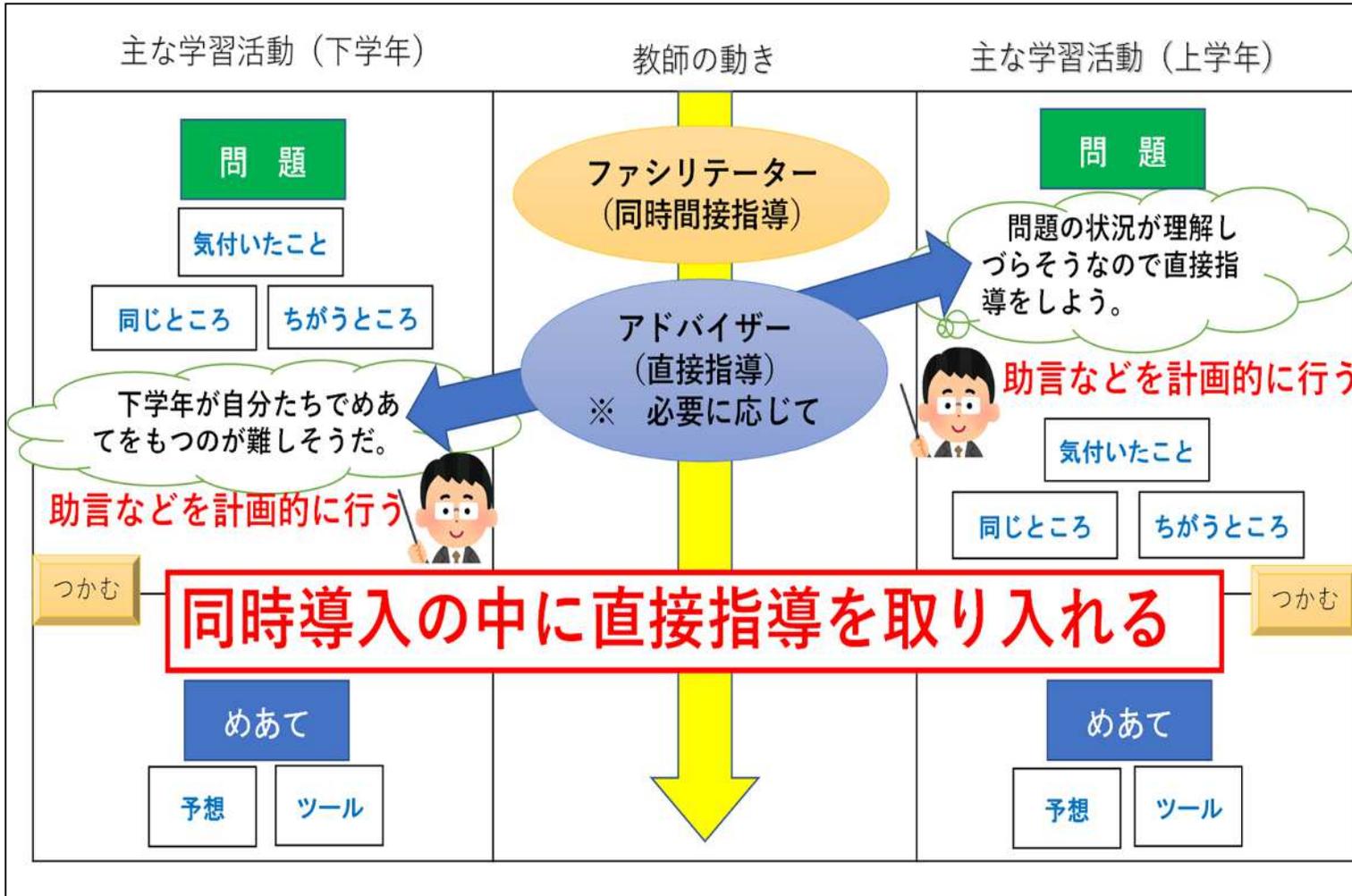
- やる気に満ちている。
- 複式指導に不安を抱えている。

## 【授業改善 令和3・4年度】

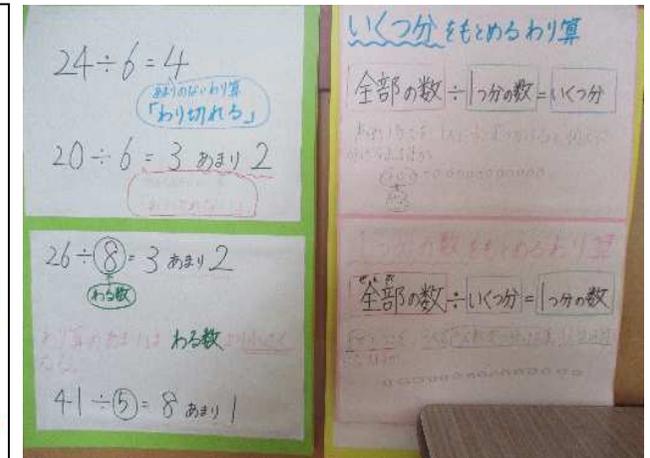
児童が主体的に考え、よりよい学びを共に創る複式学習  
～算数科における指導過程の工夫を手立てとして～



# 【授業改善】



〈同時導入での教師の役割の明確化〉



〈まとめカード〉



〈個に応じた指導〉

## 【授業改善】

### 〈成果〉

- 指導過程の工夫やガイドプレートの活用などにより、ガイド学習に対する児童の苦手意識が改善した。
- まとめカードやヒントカードなどの活用により自力解決しようとする姿が見られた。

### 〈課題〉

- 意見の交流の際、自分の考えをうまく伝えられない児童がいた。（交流場面の設定とガイド・フォロワーの育成）

## 【授業改善 令和5年度】

児童が主体的に考え、よりよい学びを共に創る複式学習  
～児童相互の交流を活性化させるための手立てについて～



## 【授業改善】

### ガイド学習の心得・高学年

・これまでの学習や考え方との、「ちがい」から、今日頑張るべき事「めあて」を考えよう。——「ちがい」を「めあて」へ

・これまでの学習や考え方と、「同じところ」から、ときかたのヒントをもらおう。——これまでも「同じ」があるから、〇〇の方法で解けそう。

「ちがうところ」と「同じところ」は、みんなで話し合い、みんなの力で解決しよう。



### 困ったときには…

・よくわかってなさそうで、手が止まっている人がいる。——

・自分で考えたがよく分からない。——

そんなときは、「となりの人と話し合おう」と提案してみよう。ガイドさんが言ってもいいし、他の人でもいいよ！

・指示されたことが早く終わった。——

それを本当に理解できている？自分なりに説明できるかを確認しよう。

それができていたら次の項目へ進んでみよう。

### 最後に…

・みんなで作っていくのが複式学級の授業です。まちがったっていい！そこからみんなが前に進めます。

## 【授業改善】



「サイコロトーク」



「気持ちを考える」

朝の活動  
ほけここタイム（保健・心の時間）

目的：児童の関係性づくり

内容：SGE・SST・ピアサポート

担当：養護教諭



〈成果〉

安心して自分の意見を伝えられる関係性  
ができつつある。（心理的安全性）

## 【授業改善】

### 鹿児島学習定着度調査（通過率による経年比較）

教科	国語	算数
令和3年度	+ 5.0	+ 14.8
令和4年度	+ 1.0	+ 7.6
令和5年度	- 3.7	+ 11.3

### 全国学力・学習状況調査（通過率による経年比較）

教科	国語	算数
令和3年度	+ 4.0	+ 4.0
令和4年度	+ 9.0	+ 6.0
令和5年度	0	+ 22.0

## 【授業改善】

### 〈成果〉

- 意図的な交流場面を設定したり、ガイド学習の手引きを改善したことで、意見交流が活性化した。
- 3年間の算数科の取組が、学力向上につながった。

### 〈課題〉

- 意見交流をさらに活性化させる必要がある。
- 読解力を高める必要がある。

## 【授業改善 令和6年度】

児童が主体的に考え、よりよい学びを共に創る複式学習  
～交流を通して、読みを深める～



令和6年8月21日（水）

### 伊仙町立糸木名小学校 校内研修資料 「理論研究⑥」

【研究テーマ】

児童が主体的に考え、よりよい学びを共に創る複式学習  
～交流を通して、読みを深める～



《場所：Café Itokina & 糸木名小校区》

前半	(1) 作文合評会	11:00 ~ 12:00 (45)
後半	(2) テーマ研修	13:00 ~ 14:00 (45)
	(3) 全国学力・学習状況調査 (4) フィールドワーク	15:10 ~ 16:30 (80)

※ 教育課程・飲み物持参でお願いします！

研修の時間  
「Café Itokina」

飲み物持参で  
話しやすい  
雰囲気づくり

## 【授業改善】

令和5年度（5年生） ガイド学習引き継ぎ書			
長期目標	導入	・これまでの学習と異なる部分から自分たちでめあてを考えることができる。これまでの学習と同じ部分や異なる部分から学習全体を見通し、自分たちで学習形態と発表の場を決定することができる。	
	展開	・自分と他者の考えを比較し、そのよさを認め、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。	
	終末	・めあてに対するまとめを協議し、決定することができる。	
	実 態	対 策	見 童 の 変 容
1 学 期	<b>導入</b> みんなでうまくいく。 関係性がよい。 焦点化を手伝う必要がある。 <b>展開</b> Aさんへの声かけが必要 <b>終末</b> まとめへ向かう比較・検討がうまくいかないことがある。	・焦点化を手助けするためのまとめカードや資料の活用 ・意図的に指名し、思考を手助けしていく。 ・まとめ方を指導する。	・焦点化の精度が上がってきた。 ・理解できる分野が増えてきた。 ・まとめに追加で書き込みをするようになってきた。
2 学 期	<b>導入</b> 焦点化の精度があがっている。 ガイドプレートや前時までの過程を生かしている。 <b>展開</b> Aさんへの声かけが必要 <b>終末</b> まとめへ向かう比較・検討がうまくいかないことがある。	・焦点化を手助けするためのまとめカードや資料の活用 ・意図的に指名し、思考を手助けしていく。 ・まとめ方を指導する。	・焦点化が理想的にできることが増えてきた。 ・集中して学習に取り組み、理解できることが増えてきた。

## 【授業改善】



ガイド学習  
オリエンテーション授業  
(3・4年教室)



先生：複式指導の実際を学ぶ機会  
児童：ガイドのやり方を学ぶ機会

1人1研究授業・授業研究

## 【業務改善】

本校の課題

担任の超過勤務時間が長い。



目標：仕事量の1割削減

- 条件：① 本校の教育目標と照らし合わせて不都合がないこと。  
② 職員のウェルビーイングに悪影響が出ないこと。  
③ 関係者に多大な迷惑がかからないこと。

## 【業務改善】

全体 P T A



職員会議・担任等会



アンケート



### 業務改善案アンケート項目

- 1 宿題を出す意義について、考えをお書きください。
- 2 週報を出す意義について、考えをお書きください。
- 3 授業の準備について、アイデアをお書きください。
- 4 宿題の準備について、アイデアをお書きください。
- 5 週報の準備について、アイデアをお書きください。

## 【業務改善】

### 〈以前までの取組〉

- ① 定時退庁日の設定
- ② 毎月の出退時刻記録カードでの指導
- ③ 繁忙期の時数削減や会議の短縮化や統合など

はじめの一歩

### 〈新しい取組〉

- ① 毎週木曜日「読書の日」（宿題は読書と感想文）
- ② 学級通信「次週の学習予定」は紙で配布（記事は不定期掲載）  
※ 安心メールでの配信実施
- ③ タブレット持ち帰りとnavima（デジタルドリル）の活用
- ④ 授業時数の見直しや合同授業の実施

## 【業務改善】

なまえ

わたしは、わたしが

さんがかいた

「だま

」というほんをよみま

した。

このほんには、

いじりかた

がでてきます。

わたしがころにのこったのは、

いじりかた

ところです。

わけ

このはなしをよんで、

おもった

とおもいました。

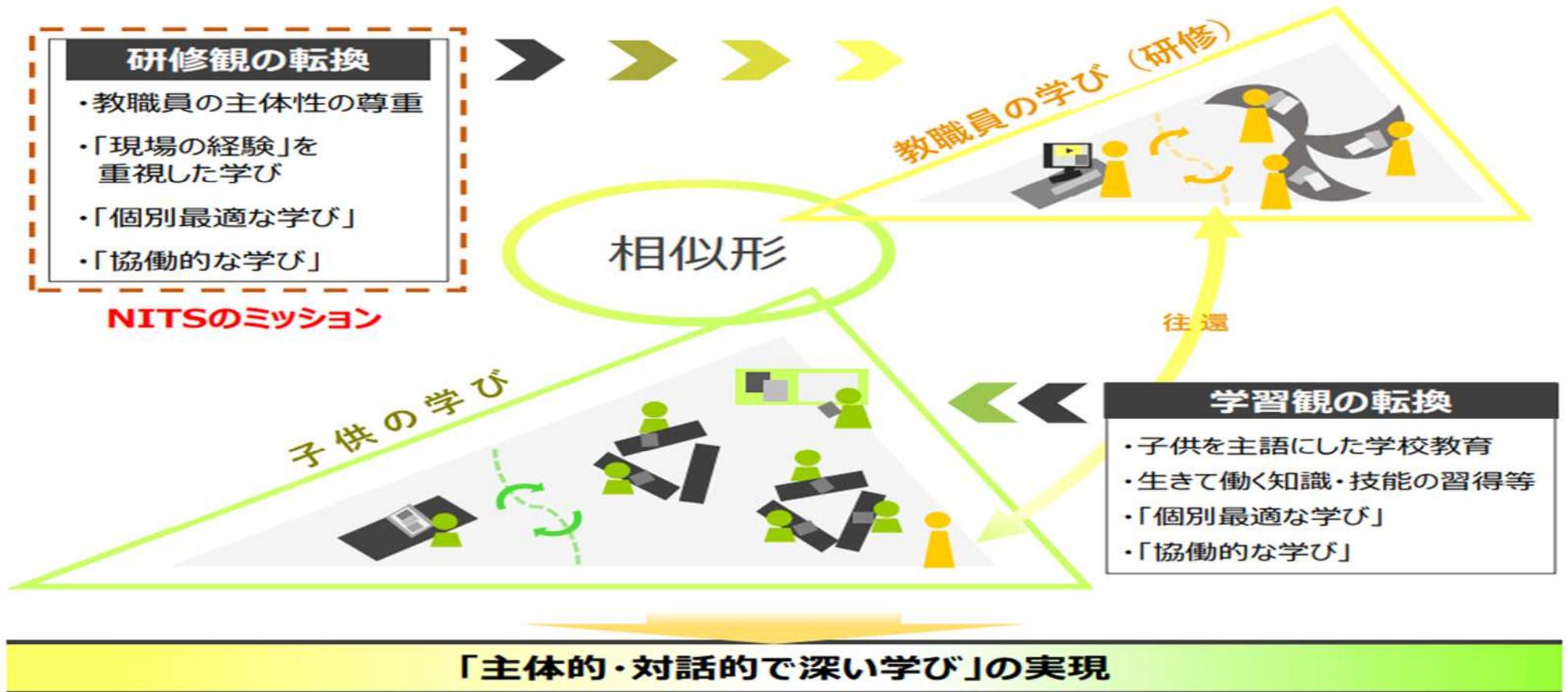
〈「読書の日」の宿題 1・2年〉

【これからやっていきたいこと】

自走する子供たち・教職員

教職員の学びは  
子供の学びの相似形

# NITS戦略（ミッション） ～新たな学びへ～



〈NITS 独立行政法人 教職員支援機構 「NITS戦略 新たな学びへ」より〉

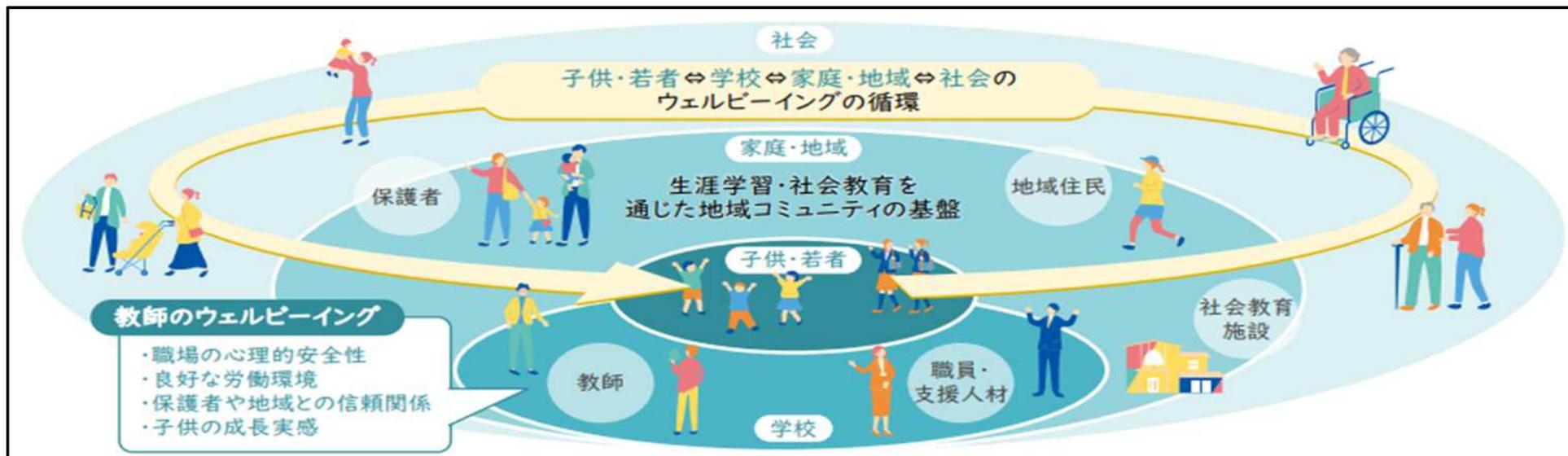
教室の変革	職員室の変革
信頼ベースの学級づくり	信頼ベースの職員室づくり
自立・自律・主体的な学び手に	自立・自律・主体的な先生へ
自由裁量権を子供たちに (子供に委ねる)	自由裁量権を先生たちに (先生に委ねる)
学びを「自己選択」「自己決定」	仕事の「自己選択」「自己決定」
探究的に学ぶ	探究的に働く
協働して学ぶ	協働して働く
ワクワクしながら学ぶ	ワクワクしながら働く
学びの「内発的動機付け」	仕事の「内発的動機付け」
圧倒的な学力の向上	圧倒的な仕事の成果

※ 令和6年度 第2回伊仙町教頭研修会資料より

## 【おわりに】

### ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念



〈第4期教育振興基本計画リーフレットより〉

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。  
やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。

御清聴ありがとうございました。